

小特集

環境に配慮した工事事例

A Sample of Construction in Consideration
of the Environment

●「土と基礎」編集委員会

本号担当編集委員：松谷泰生（主査）

伊藤 政人	遠藤 良直	扇谷 治
金谷 泰邦	中田 幸男	浜崎 智洋
森 嘉仁	時田 伸二	中村 幸司
中村 洋一	澁谷 啓	

●講座委員会

本号の編集にあたって

少子高齢化社会の到来、IT革命の進展など時代の大きな転換期を向かえる中で、我々を取り巻く環境問題—地球温暖化等の地球規模の環境問題、廃棄物・リサイクル問題、ダイオキシン・環境ホルモン等—が深刻の度合いを深めています。

これらの環境問題に対して、現在までの大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済システムから転換し、持続可能な循環型社会の構築が必要とされ、我が国の社会資本整備のあり方にも抜本的な改革が求められています。官・民をあげてこれらの問題に前向きに取り組んでいるのはご存じのとおりです。

また、1993年に「環境基本法」、1999年には「環境影響評価法」が制定され、地方公共団体においても独自の環境影響評価制度が運用されつつあります。同時に建設業界では「建設業の環境保全自主行動計画」を策定し、重点施策を掲げて積極的に環境活動を実施しているところでもあります。

このような背景を受けて、地盤工学に関連した環境活動の現状や今後の動向などを会員に広く紹介することを目的に「環境に配慮した工事事例」を今回の小特集テーマとして企画しました。

総説では、環境哲学に基づく技術論として、表土の持つ環境価値を高く評価した緑化工法の概念が紹介されています。そのほかの論文では、緑化、多自然型河川護岸、地下水保全、二酸化炭素の増加と石灰石の溶食など自然環境保全にかかわるさまざまな事例が報告されています。

執筆していただいた方々へのお礼を申し上げますとともに、本号が今後ますます重要となる環境問題と地盤工学のかかわりを考える上での一助となり、会員の皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。

森 嘉仁（もり よしひと）

地盤工学会のホームページ URL <http://www.jiban.or.jp/>国際地盤工学会ホームページ <http://www.issmge.org/>